

## 東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

### 県営ほ場整備事業（高田地区）が 完了しました

平成21年度に事業着手した県営ほ場整備事業高田地区（農地面積23.9ヘクタール）の換地処分登記が終了し、この3月をもって事業完了となりました。

工事前の農地（209筆）は、不整形で狭い農地が多く、耕作が放棄された農地もありましたが、この事業により、1区画おおむね30アールの整形で広く使いやすい農地（87筆）になりました。

併せて農道や排水路、用水路の整備も一体的に行ったことで、水田の水はけや作物などの運搬条件も良くなり、麦や大豆、野菜など畑作物の作付けも可能となりました。

今後は地域農業を支える担い手への農地利用集積が図られ、経営規模の拡大や生産コスト削減などの効果により農業経営が安定することで、さらなる地域農業の活性化が期待されます。

これまで長年にわたり、高田地区ほ場整備委員会の委員長をはじめ、委員の皆さんや地元土地改良区の方々には大変お世話になりました。周辺の住民の皆さんには工事へご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。



▲ほ場整備で使いやすい農地に

## 丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

### LGBTを知っていますか？ ～地区懇・ポスター掲示・出前授業～

「LGBTとは何か知っていますか。これは、4つの言葉の頭文字です。L=レズビアン、女性の同性愛者。G=ゲイ、男性の同性愛者。B=バイセクシュアル、両性愛者。T=トランスジェンダー、心と体の性が一致しない人を表しています」。小学校5・6年生を対象とした出前授業の最初の説明です。丹原東中学校



▲小学校に出向き授業をします

では、3年前から性的マイノリティ（LGBTなどの性的少数者）に関する人権学習を進めています。

昨年からは正しい知識を知る学習だけではなく、差別解消のため行動できる力を身に付けようと、地区別懇談会への参加、小学校への出前授業、丹原総合支所などへのポスター掲示依頼に取り組んでいます。参加した生徒は「ポスター掲示依頼の訪問をしてみて人権課題についてさらに考えを深めることができた」「説明を聞いた園長先生が『このポスターをいろいろな人に見てもらい、今日教えてもらったことを伝えられるようになりたい』と言ってくれた」「どんどん正しい知識が広まればいい」と感想を述べていました。

ポスターは、丹原総合支所玄関ホールにも掲示されています。ぜひご覧ください。

## 小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

### 元気GOGO米de防災おにぎり ～小松小学校の活動～

「おにぎりを食べて防災を考えよう」。東日本大震災から6年を迎えるのを前に、3月10日、小松小学校5年生52人が「防災おにぎり」づくりをしました。

この取り組みは、東日本大震災の記憶を風化させることなく、災害発生時に自分の身を守ることを日ごろから意識するとともに、共に備え助け合う環境をつくるため、昨年度から実施しているものです。

家庭科室では、5年生が心を込めて育てたお米が炊き上がると、ご飯をラップに包み、おにぎりづくりに挑戦。みんなでごはんを食べられる当たり前の日常に感謝しながら、防災学習を終えた6年生と一緒に、完

成したおにぎりをおいしそうにほおばっていました。おにぎりづくりに挑戦した児童は「気持ちを入れて自分で作ったおにぎりはいつもよりおいしい」と話してくれました。

おにぎりづくりを通して震災の記憶を受け継ぎ、防災について友だちと語り合える貴重な時間を過ごせたことは、卒業間近の6年生にとって心に残る特別な一日となったのではないのでしょうか。



▲米づくりからみんなで挑戦